

サイジヤナル

月刊
28-11-12
第430号

日本サイ科学会 平成 28 年 11 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--	---	--	--	---

十二月本部例会のお知らせ

藤枝流健康増進法

講師 藤枝 伸二氏
(株)エパック代表取締役

現代人はストレス、過労、運動不足、偏った食事などにより、体のバランスを大きく崩しています。また、高齢化社会になり、関節、腰、肩などの痛み硬直などの症状を訴える人が増える傾向にあります。

「ふじ流」は、独自の手法によって体の関節を緩め、老廃物を取り除くことで、筋肉の張りがほぐれ、骨格のバランスを整えます。これにより、気の流れと血の流れが良くなり、代謝が上がり、自然治癒力が高まります。

①天降石SGEについて

藤枝氏が治療に取り入れている天降石の効果を解説します。

②SGEサンドバスについて

同氏が院内に導入し、類い希な効果を示すサンドバス(天降石の成分による砂風呂)の解説

③骨の構造と神経について

身体の上すべての基本となる骨と神経について

④なぜ現代人がガンになるのか?

ガンというものの根本原因を同氏流に説明します。

⑤気の力について

同氏の右手から出る不思議な力「気のパワー」について解説し、会場の参加者の皆様に施術のパフォーマンスを致します。

⑥藤枝流の健康方法

同氏の考える独自の健康維持のためのメソッドを解説します。

※愛媛県新居浜市で、今までの全体の常識をくつがえすという評判の整体を長年施術し、また多くの整体師を養成している藤枝氏の講演と施術のパフォーマンスもある、貴重な機会ですので、会員の皆様は、ご友人知人をお誘いして、是非ご参加願います。

◎藤枝伸二氏のプロフィール

整体師として20年余の経験から、「ふじ流手技療法」を編み出し、東京、沖縄にも処点を置き、自らスポーツ界の著名人にも施術を行う。療術師指導育成にも力を入れ

※十一月と一月の本部例会は休会となります。

その代わりに、十一月はスピリチュアル研究分科会、十二月は宇宙生命研究分科会、分科会・気づき、一月も分科会・気づきが開催されます。

今月号の記事

- ◎十二月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎関西サイ科学会十一月一月研究集会と十二月放談会のお知らせ
- ◎第5回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎第29回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎第2回、第3回分科会気づきのお知らせ
- ◎平成27年4月本部例会報告Ⅱ
- ◎第四〇八回関西サイ科学会報告
- ◎第四〇九回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎本部月例会講演録音の販売
- ◎本部例会ビデオ映像の販売
- ◎「オーブ」と「イオン・ボール」の形成(2)

ており、後進の育成にも力を入れている。一方、総合美容健康産業にも携わり、全国各地から健康についての講師として招かれている。また、同氏の右手から出る「気」による瞬間治療を頼って、全国から順番待ちの状況である。

(社)全国療術師協会正会員、(社)全日本療術師認定協会指導員、ふじ流温熱手技療法会長。

日時 平成28年12月10日(土)
午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(10/16受領分まで)

金十万円也 久保田昌治 様

金二万円也 匿名 様
金二千元也 石川 允朗 様

関西日本サイ科学会
十一月研究集会のお知らせ

千鳥学説・腸造血説

講師 千鳥 明氏

日時 平成28年11月19日(土)
午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

※講演後講師の先生を囲んで懇親会を予定。懇親会会費三五〇〇円終了7時半頃、奮ってご参加下さい。

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会
2016年忘年の放談会

非会員の方も大歓迎です。
十二月の研究集会はお休みです。

日時 平成28年12月3日(土)
午後5時30分より

場所 山海倶楽部
06(6443)0209

※大阪市西区京町堀1・4・3
TCF肥後橋ビルB1階

※参加ご希望の方には会場案内図をFAX等でお知らせ致します。
参加費 四五〇〇円

※11月30日(水)までに、会長の河野までお申し込み願います。
072・445・7737

関西日本サイ科学会
一月研究集会のお知らせ

宗教と生命と科学の融合

講師 いよのいし氏

日時 平成29年1月21日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ072・445・7737

第5回スピリチュアル研究
分科会のお知らせ

日時 平成28年11月20日(日)
午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室

交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 一〇〇〇円
一般 二〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

講演
気の体感と交流・聖地の
風水スポット

講師 出口 衆太郎氏

私は35年以上に亘り、ヨーガ、気功、太極拳、合気柔術、風水など、東洋の体術を修練してきました。様々な想念を一度緩め、心を無心にする。からだを楽にし、微妙な動きに任せる。それは生命のうねりであり、気のかよひめきです。

気感には、掌が温かくなるといった身体末梢の感覚から、丹田が振動するといった内動的感覺もあります。また、他人の気の状態が感心するといった外気共振の感覚から、心身の統一の内に宇宙との合一を味わうといった至高体験にも至るのです。私は気功を中心に修練してきましたから、今回は実技として、気功の基礎を指導し、気の体感の仕方をお伝えしようと思います。

前半は、誰でもできる健康にも効果ある自然身法の基本でからだをほぐし、ゆったりとした動きで気を感じてみましょう。また人や自然との気の流れについてもお話しします。後半は、日本の気のスリットを写真とともにご紹介しましょう。

◎出口衆太郎氏のプロフィール

自然身法研究会代表 日中健康センター気功主任指導員 鹿兒島県生まれ。武蔵野美術大学卒業。佐保田ヨーガ禅の教師となり数千人を指導後、縁あって山中の禅僧に師事、立禅を中心とした内功武術を学ぶ。陳式太極拳、大東流合気柔術を研究。混元太極拳第二代伝人、陳式太極拳第十一代伝人となる。

日常動作、伝統体術に共通する原理『自然身法』を提唱する。東大附属病院、早稲田大学、他各地で気功、太極拳、自然身法を普及してきました。また、風水を研究、内外の聖地を巡り、気の風景を写真、文章で各誌に発表。

著書：『身のこなしのメソッド・自然身法』（春秋社）、『体感パワースポット』（BABジャパン）ビデオ：『自然身法・内功入門』（クエスト）『風水観気巡礼・熊野』（BAB出版）など多数

第29回宇宙生命研究分科会

第4回 異能科学会議
テーマ 潜象のエネルギー

日時 平成28年12月4日(日)
午前10時～午後5時30分
会場 品川健康センター3会議室
(品川区北品川3・11・22)

交通 03・5782・8507
京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR 京浜東北線大井町駅東口から東急バス「渋谷駅」行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 一〇〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会)
一般二〇〇〇円

・事前参加申し込みは不要です。
・当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

第2回 分科会 気づき

日時 平成28年12月18日(日)
午後1時30分～4時
会場 北とびあ8階804A会議室
(東京都北区王子1・11・1)

交通 JR 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 五〇〇円
一般 一〇〇〇円

講演 「人の思考を構成するループについて」
講師 浪平博人氏
(日本サイ科学会会長)

第3回 分科会 気づき

日時 平成29年1月15日(日)
午後1時30分～4時
会場 北とびあ8階804A会議室
(東京都北区王子1・11・1)

交通 JR 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 五〇〇円
一般 一〇〇〇円

講演 「創造について」
講師 浪平博人氏
(日本サイ科学会会長)

「水からの伝言」と「新しい水の科学」

講師 根本 泰行氏

「第四の水の相」の応用例として、まったく新しいメカニズムに基づいた浄水器がある。親水性の素材のチューブの中に水を通します。チューブの内面の直下のところは、第四の水の相が来て、ここはきれいな水になるので、この外側の部分のきれいな水だけを物理的に分けると、1回チューブに水を通すだけで、汚れが200倍きれいになります。2回重ねれば、4万倍きれいになります。細菌の排除や脱塩も出来るでしょう。

まとめとして、第四の水の相は、可視光や赤外線が第四の水の相にあたると、そのエネルギーは電力や血液の流れ等、物理的な運動にも変換されるので、ポラック博士は「第四の水の相はエネルギー変換装置である」というふうな言い方もしています。私の考えでは、

光以外にも「水からの伝言」が示しているような、感情や想念、言葉やイメージ、祈り、ヒーリングエネルギー、気のエネルギー、サイキックパワー等の諸々のエネルギーはすべて第四の水の相が一旦受けとめて、それを生化学的反応、自己治癒力、免疫力、各種エネルギー体との繋がり等の別の形にエネルギー変換しているのではないだろうか、と作業仮説で考えておきます。

こう考えると、「水からの伝言」では液体の水を凍らせたときに、出来る結晶の形を見ますが、ポジティブな感情またはネガティブな感情を送ったときに、第四の水の相がそれを受け止めて、出来る結晶の形が微妙に変わるといふことが起きてもおかしくないと思います。

2014年7月10日、アメリカのインターネットラジオ番組「シヤロン・クライン・アワー」におけるポラック博士へのインタビューで、博士は、『水からの伝言』での江本氏の発見を説明するための科学的な仮説「感情のエネルギーによって、第四の水の相の構造が

変化するのではないか」を示されました。

今年(2015年)の3月5日、私がワシントン州シアトルにあるポラック博士のご自宅で、博士にお会いしたときのビデオ映像をご紹介致します。

ポラック博士のコメント
『江本博士の水の仕事はとても素晴らしいものです。水と心を交わした後に生成されてくる氷の結晶について言えば、様々な種類のエネルギーによって、水に影響を与えることができるということを示す証拠を、私たちは掴んでいるのです。』
「第四の水の相」に対して、私たちは影響を与えることができるのです。この「第四の水の相」こそが氷になって行くのです。

あなたが観察している氷の結晶の形に対して、これらの影響によってインパクトを与えることができるということについて、私たちはよく理解することができます。ですから、江本博士が始めたスピリチュアルな面での仕事と、私たちが行っている科学的な研究の間には、とても密接な関係があります。お互いにとてもよく対応していると思います。』

ポラック博士自身は人格的にも素晴らしい方で、本当にハートのオープンな科学者なんです。昨年ブルガリアで開催された水の国際会議でもチェアマンをされていて、世界の水の研究者をリードしている第一人者の方です。その方が昨年江本会長が亡くなられたときに、江本会長の『水からの伝言』に対して、「科学ではないんだけど、沢山のインスピレーションを一般の人々のみならず、科学者に対しても与えてくれた。」というコメントを戴き、私たちはその繋がりに大変喜んでるところです。

ホメオパシーとは何か？

同種の法則

・19世紀の初頭に、ドイツの医師、ザミュエル・ハーネマン(1755-1843)によって創始された医療体系。

・ある時、たまたま彼が翻訳していた文献の中に、「キナの樹皮はマラリアの特効薬である」という記載があった。ハーネマンは好奇心から、自分マラリアに感染していないのにも関わらず、キナの皮を摂取した。すると驚いた

ことに、マラリアの患者が体験するありとあらゆる症状が自分の身体に現れた。

・この「発見」がきっかけとなって、ハーネマンは「同種の法則」と呼ばれるホメオパシーの基本原則を確立する。これは「健康な人に投与したときに、ある病気の症状を引き起こすような物質は、その病気にかかっている患者の症状を治癒することができる」というものである。

・この原則は当時一種の薬としても使われていた水銀や砒素などの毒物についても適用されたが、副作用を極力減らすために、ハーネマンは原液を水で高度に希釈した。

ホメオパシーの薬のことを「レメデイ」と呼びますが、その「レメデイ」として、水銀や砒素の毒物すらも薄めていくと、ホメオパシーの治療薬として効果があることが体験的に判っておりました。それどころか、実はホメオパシーの世界では、非常に極端に希釈を積み重ねていきます。

・「段階希釈」1mLの原液を99mLの水に混ぜると、100倍希釈になる。そこから再び1mL取り

出して、99mLの水と混ぜると、1万倍希釈になる。但し、希釈のたびに、激しく振盪することが必須である。

・100倍希釈を6回繰り返し返して作られたホメオパシー薬(レメデイと呼ばれる)は「6C」と呼ばれており、希釈率は10の12乗倍、すなわち1兆倍となる。30回繰り返し返して作られたレメデイは「30C」と呼ばれ、希釈率は10の60乗倍。200回繰り返し返したものは「200C」と呼ばれており、その希釈率はなんと10の400乗倍となる。

・いずれのレメデイも薄めれば薄めるほどよく効く。



アボガドロ数

・アボガドロ数 $\parallel 6 \times 10^{23}$ 乗個
 \parallel 物質1モルの中に含まれている構成要素の数

例えば、18グラムの水の中には、

6×10^{23} 乗個の水分子が含まれている。180グラムのブドウ糖の中には、 6×10^{23} 乗個のブドウ糖の分子が含まれている。

・1グラムの物質の中には、最大でも 6×10^{23} 乗個の分子しか含まれていない。

※ハーネマン医師(1755~1843)の死後、1865年に、ヨハン・ロシュミットによって、アボガドロ数が計算された。

従って、ハーネマン医師は、アボガドロ数の概念を知らなかった。

高度希釈

・原液の中に溶けていた物質が1分子も残っていない程に、高度に希釈することを「高度希釈」と呼ぶ。

・簡単な計算から、「30C」(10の60乗倍希釈)や「200C」(10の400乗倍希釈)のレメデイは、物質としては水そのものであつて、原液の中に溶けていた物質は1分子も残っていないことが分かる。

・ホメオパシーの有効性は、二重盲検法や動物を使った実験によっても、証明されている。

・現代科学では、まだその仕組みを説明できないが、ホメオパシーが有効であるということは、「水

にはかつて溶けていた物質の情報記憶する性質がある」と考えざるを得ない。

ジャック・ベンベニスト博士の研究
 私は2002年の1月に日本勝会長の会社に入ったのですが、この年の6月に日本会長のヨーロッパ講演ツアーに同行しました。このとき、有り難いことにベンベニスト博士もスイス・ルチェルンで開催された「ウォーター・シンポジウム」に講演者の1人として参加され、そこで直接お話しする機会がありました。

ベンベニスト博士の高度希釈実験
 好塩基球の脱顆粒反応(1984年発見、1988年報告)

・ベンベニスト博士は一流の免疫化学研究者であった(血液凝固系における血小板活性化因子の発見者)。

・白血球の一種である好塩基球を入れた試験管の中に、アレルギーの原因物質を添加すると、好塩基球は反応して細胞内の顆粒を外に放出する(脱顆粒反応)。

・ある種の抗血清(抗IgE抗体)もこの反応を引き起こすことが知

られている。

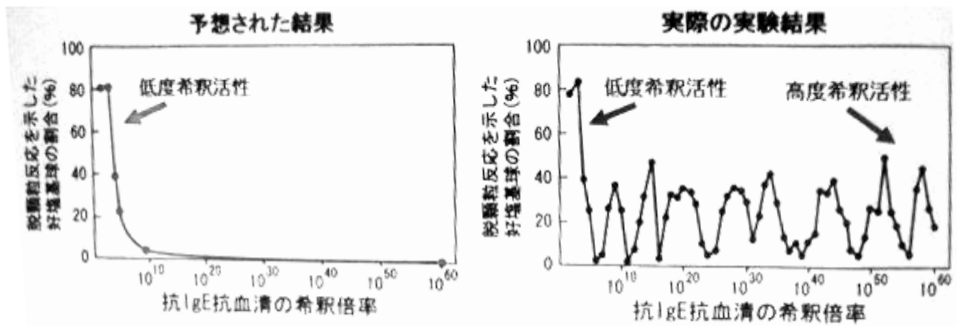
ベンベニスト博士は、好塩基球の抗血清に対する脱顆粒反応が、原液をどの位薄めたら効果が無くなるのかの実験をしました。

原液の段階では、80%の好塩基球が反応したので、その効果を下の左図のように予想しました。希釈率を10の30乗まで行ったら、元の分子は1個もないので、その手前ではほぼ反応は0になるだろうと予想しました。

ところが実験をしてみると、下の右図のような反応になりました。希釈率が10の30乗も超えても40%を超える反応が出たのです。

研究者の同僚から、ホメオパシーのことも知ったのですが、この実験論文は1988年の「ネイチャー」に掲載されました。

「ネイチャー」に発表されたベンベニスト博士の論文は、大論争を引き起こし、結果を再現することができないとする論文が立て続けに発表され、「ネイチャー」編集部もベンベニスト博士の研究室に調査団を送り込みました。その結果、ベンベニスト博士の研究はインチキと判定され、ベンベニスト博士は科学者生命を失ったのです。



私自身は、ベンベニスト博士の1988年以降の論文を丹念に読んでみると、細かい実験を沢山し

ていて、インチキとは思えない詳細なデータが沢山あります。

その中で例えば、高度に希釈された試薬に対しても反応は出るのですが、その高度に希釈された試薬に対して低周波の磁気処理をすると反応が無くなるという結果も「ネイチャー」の論文には書かれています。ということ、ベンベニスト博士は試薬の活性そのものを電磁氣的に記録できるのでないかと考えるようになります。

ベンベニスト博士は職場を追われたりしたのですが、それでも新しい実験を続けました。

「モルモットの心臓のランゲンドルフ灌流モデル」に対するヒスタミンの作用・モルモットに対して、ヒスタミンを使ってアレルギー化しておく。その後心臓を取り出して、通常濃度のヒスタミン溶液と高度希釈したヒスタミン溶液のいずれにおいても、心臓がアレルギーショックを引き起こすため、心拍出量が増加します。しかし、高度希釈したヒスタミン溶液を、低周波の電磁場にさらしておくこと、この効果は消失することが分かったのです。

ベンベニスト博士の信号増幅・伝達実験

友人の電子工学者からのアドバイスで、分子が発するモノが電磁波に関係するならば、それを増幅器を通して循環させることができるとは思いません。それで電話の増幅器の原理に基づいた装置を作って実験を行ったところ、出力側に置いた純水を、モルモットのランゲンドルフ灌流モデルに作用させたところ、心拍出量が増加したのです。次にその電磁波動データをパソコンに保存することで、出力側の純水にヒスタミン活性を持たせることが出来たのです。「デジタル生物学」。

◆ ◆

第四〇八回関西日本サイ
科学会研究集会報告

テーマ・「本居宣長の「古事記」解釈は誤っていた！観点を変えると「古事記」から本当の史実が見えてくる！比較言語学から読み解く日本人、日本語のルーツ」

講師 坂井 洋一氏
(古代秘史ハンター)

とき 平成28年5月21日
ところ 大阪科学技術センター

◎坂井洋一氏プロフィール

1953年茨城県日立市生まれ。慶応大学経済学部卒。映画プロデューサー／バイヤー。作詞作曲家。古代秘史ハンター。

日本と世界の文化の架け橋となることをミッションとし、世界の空手ファン向けに本格的空手映画「黒帯」及び「ハイキック・ガール」を作り好評を得る。

作詞作曲家としては日本を代表するヒットメーカー小田裕一郎氏に師事。

近年、日本の隠された歴史に興味を持ち、比較言語学をベースに古代日本と古代世界の驚くべき繋がりや明快に解く。

6月28日にヒカルランド社より初めての本が出版される。タイトルは「日本の始まりはシユメー」。本の出版に先立ち、本日は、前半で、記紀が語らない日本の弥

生時代の真実を、昭和41年に愛媛県宇和島市で発見された古文書

「ホツマツタエ」をベースにご紹介する。そして、後半には、縄文・弥生と時代区分されている日本列島と、同時代の世界がいかに深く交流していたかを比較言語学をベースに解説する。それはひいては、謎とされている日本人や日本人だけが話す日本語のルーツを紐解くことにもつながる。まずはじめに「ホツマツタエ」を紹介する。この史書の特長はいくつかあり、これらの記紀との差異は際だっている。記紀と全くちがうその内容の主なもの、

①宇宙創成は、宇宙創造神の吹いたひと息「ウ」が「ア」と「ワ」に分かれ、さらに最終的に、ア、イ、ウ、エ、オと発音されるホツマ独自の象形文字が表す5元素で宇宙のすべてができていると記す。これは「旧約聖書」ヨハネの福音書の冒頭の「神は言葉なり」に共通するメッセージである。

②「ホツマツタエ」は一言であらわせば、水田稲作を日本列島にひろめたリーダーたちの物語。すな

わち、天皇家の祖先がそのリーダーたちであったと記す。

つまり、記紀でいう「神代」の神たちは、じつは生身の人間であったと。そのなかで、記紀がいう「天孫降臨」の主人公ニギの命というの、天照大神の勅命で全国に水田稲作をひろめた優れた技術者であり、現代風にいえば転勤族であり、南九州の高千穂にも、当時富士山麓にあった朝廷から派遣されて行ったのが真実と分かる。決して天から降臨したわけではない。ただ、8世紀の記紀編纂時代には、中国の大国「唐」をけん制するため、日本を神国化して描き、神の造った怖れ多い国へ「唐」が侵攻しないようにするのが目的だった。

天皇家と稲作の切ってもきれない関係は歴代の天皇が代わるときに行っている「大嘗祭」に表されている。

③記紀と「ホツマツタエ」のもうひとつの大きな違いは、記紀で天照大神が女神として描かれるのに対し、「ホツマツタエ」は男性のリーダーであったと記す。

妃が12人いたと。実は、その中

のお二人は有名である。全国の神社でとされる大祓い祝詞の中に出てくるのだ。お名前は瀬織津姫と速秋津姫。その中でも瀬織津姫は男性のリーダーのアマテル神の正后であった。瀬織津姫は摂社も含めると全国の300近い神社に祀られている。しかし、これまで出所不明の女神だった。瀬織津姫に限らず、「ホツマツタエ」は記紀のすべての神々の出生から活躍、他の神々との関係、崩御の場所までもしるす驚くべき神々の百科事典的要素をもつ。

④「ホツマツタエ」は全40章からなり、1万行、11万字のボリュームだが、全編、575の長歌で書かれていて、なおかつ、弥生時代の日本列島ではリーダーたちは、ウタでものごとの解決を図ったと記す。その中で面白いエピソードを1つ紹介する。

ひとつは、和歌山(昔は紀の国)の農民から嘆願書が届き、育てている稲が稲虫にやられて枯れそうなのでなんとかしてほしいと。それを聞いて現地に向いたのは、ヒルコ姫と先述の瀬織津姫。ヒルコ姫というのも記紀では隠された

女神のおひとり、実はアマテル

神のお姉さんでイザナギとイザナミの初子。たまたま夫婦の厄年に生れたので、古代の習慣にのっとり「捨て子」にされた。といっても養育係を決めて幼少時のみ他人に育ててもらった。葦舟で流したヒルコ姫を拾って育てたのは船の神様の住吉さん夫婦。住吉さんは和歌の達人でもあったので、そこで育ったヒルコは和歌の名人になり、アマテル神の正妻の瀬織津姫といっしょに「ウタ」で問題を解決したとある。和歌山の稲虫を祓う歌を現地でヒルコ姫がつくり、瀬織津姫と女官たちがそれを繰り返し歌うと稲虫が飛び去り海に落ちた。「ウタ」のチカラを再現すべくメロディをつけて全国講演しながら参加者のみなさんと歌っている。

「ホツマツタエ」に記される代表的なウタはイザナギ・イザナミが作った「アワの歌」、住吉大神が作った回り歌「長き夜の」、ヒルコ姫が作った回り歌「歌見染め」、稲虫を祓った「種は種」。自分で歌ったCDも発売しているが他にも多くの歌手が歌い、ひろめようとして

くれている。

つぎに、こうした弥生時代の生き生きとしたリーダーたちの物語が語られている「ホツマツタエ」の中に、さらに古い時代のしかも中近東のシュメールや北アフリカの古代エジプトの言葉が入っている。「ホツマ」の研究者の方々が首をかき上げることばのひとつに、稲や米のことをホツマ語で「ソロ」というのがある。なぜソロなのか？これは残念ながら国学のみでは読み解けない。米の発祥は北部インドのアッサム州。そこには古代シュメール系の農民と古代エジプト系の農民がいた。古代シュメール人たちは、米のことを穀物・豊穡の女神という造語でウ・リシユと言った。一方、インドに住んでいた古代エジプト人たちは同じく古代エジプト語で穀物・豊穡の女神という造語でシャ・リシユと言った。

それがウルチ米や銀シャリということばで今でも残っているの
で、「ホツマツタエ」に出てくる
稲・米を表す「ソロ」は「シャリ」
が訛ったものといえるのだ。さら

に驚くべきことに東京国立博物館に展示してある長野県で発見された縄文末期の土器のひとつに古代エジプト語、バビロニア語、シュメール語が並べて刻まれている！日本ではこれまで、考古学者と比較言語学者がタッグを組んでいないので、せつかくの大発見も単なる「文様」で片づけられてきた。

これからは大きな歴史の書き換えの時代。こうした古代の真実にまつわる動かぬ証拠はたくさんある。そのひとつひとつが、いわゆる縄文時代や弥生時代の本当の姿を浮かび上がらせてくれる。縄文末期に、長野県でシュメール人とバビロニア人と古代エジプト人が仲良く共同生活を送り、ともに神に祈るときに使った祭祀用の土器。それが静かに東京国立博物館に安置されているのだ！古代世界に共通するルールがいくつあった。まず神を数字で表現すること。そしてある種の動物を神とみなす動物トーテム文化。

この二つを理解すると、古代は面白いようにその真の姿をあらわしてくる。当時は国もパスポート

もない。そんな中に世界中に確実に存在したのは、牛や蛇や鳥や馬や犬を神とあがめた部族たち。これらの王はそれが分かるような格好をしていた。ではアメリカインディアンは何族か？それは酋長の姿を思い浮かべられて分かる。鳥族だ！また、そんな動物トーテム、動物信仰を現代まで残している場所が日本には8000か所もある！

それは神社。鳥居は鳥が居ると書く。手を洗う手水屋には「蛇」口がある！その先には左右に門番がいる。狛「犬」だ。そして拝殿のところにはオスの蛇とメスの蛇が交わって子供を作るのを象形したしめ縄がある！日本中の聖地や火山の名も古代シュメールの神やエジプトの神を表す「数字」地名が多い！これらの、これまで全く知られていなかった日本の成り立ちやルーツを世界に向けて、日本古来のウタとともに発信していきたい。いま1冊目の本が出版され、そのスタート地点にたったところである。(坂井洋二)

☆

☆

当日の参加者は会員8名、非会員13名、計21名であった。

第四〇九回関西日本サイ 科学会研究集会報告

ダウジングのすべて 〜科学時代の活用術〜

講師 和田 高幸氏
(日本ニュートラルポイント
研究所代表)

とき 平成28年6月18日
ところ 大阪科学技術センター

和田高幸氏は…1974年「空飛ぶ円盤」(UFO)と接近遭遇、1980年至近距離での撮影に成功して意識の物理的影響を確信した。1993年在米のトップダウザー、ビル・コックス氏を招き「古代の直観科学と近代テクノロジー」のテーマでシンポジウムを開催。

1995年淡路島のY学園、1997年京都府六人部町のK食品工場にてダウジングによる井戸掘

削をサポート、成功に導いた。著書に「ニュートラルポイントの秘密」「未知の彼方へ」「直観と環境テクノロジー」(ビル・コックス、井村宏次、亀井晃治と共著)ほか。論文に「生命観の確立に果たす音の作用と意識への影響について」など。元産経新聞記者、関西日本サイ科学会副会長。



古代から行われてきた水脈探知術「ダウジング」の応用範囲は広く、都市(まち)づくり(「風水」から埋蔵資源の発掘、災害時の生存者や破損水道管の発見などに役立てられています。遠隔透視(RV)やラジオニクスもダウジングからの派生技術です。近年では電磁波や放射線、気象衛星などによる可視化が進んでいます。が、「感覚」を拠り所とした「ダウジング」

は最も簡便で安上がり、しかも人によっては機械より正確という点で「科学技術」に勝っているかもしれません。左右脳の使い分けによって知覚脳力をアップするダウジングの活用術についてお話ししたいと思います。

古代からの伝統技術ダウジングは、柳の枝を使うなどして水や鉱脈を探す技術を指し、ラブドマンシー(棒占い)ともいわれています。古代から井戸掘りや埋蔵物を探す技術として知られており、空海が用いた錫杖もこれにあたるでしょう。ダウジングをする人をダウザーといいます。イギリスの電話帳には「ダウザー」の項目もあり、職業的に行うプロ・ダウザーも少なからず存在しています。近年ではヴァーン・カメロンやビル・コックスがプロ・ダウザーの双璧でしょう。カメロンは、まだレーダーのない戦時中、潜水艦の位置を探る任務に従事しました。彼の発明した「オーラメーター」(米国特許)はビル・コックスに引き継がれ現在も入手可能です。

ビル・コックスは欧米、アジア

など十数か国の政府や企業の依頼により数百の水源地を探知、掘削に貢献しました。水源探知では95%の的中率を誇っています。日本でも淡路島のY学園(1995)、京都府六十部町(現福知山市)のK食品工場(1997)における井戸掘削、有馬温泉域での水源探知などの実績があります。

ダウジングをするための道具は特に問いませんが、地中や遠隔地から未知の情報を得るには、まず何を探すのか、ターゲットを明確にイメージしなければなりません。ダウジングの能力は、楽器演奏と同じように、個人差があるものの、その人の素質、努力、練習、経験などにより磨かれていきます。フィールドワークではオーラメーターが中心ですが、ワンド(木の枝)やL字ロッドを使用することもあります。実地での作業を軽減する「マップ・ダウジング」では、ペンジユラム(振り子)が多用されます。

ダウジングの周縁(応用)技術としては、ラジオニクス、ラジエステシア(遠隔医療)、ホメオパシ(同種療法)、オーリングテスト

などがあげられます。「風水」も同様です。有害な電磁波やガス、放射能、さらにピラミッド・パワーや人体オーラ（エネルギー場）の検知、水や食品の品質チェックなどにもダウジングは役立ちます。震災時には生存者の発見にも大きな手助けとなるでしょう。

ダウジングを成功させるには、「結果」を得やすくするための方法（質問形式）がたいせつです。脳が答えやすい質問をしながらターゲットを絞り込むわけですが、YESとNOがはっきりと区別できる質問にしなければなりません。ときどき、脳が出す答が外れることがあります。この場合には「質問」の内容や手順を振り返ることが求められます。答がわからないときには、振り子やオーラメーターの動きがそれを示してくれます。

自分の脳を、とくに右脳と左脳の機能を分離的に、また五感の感覚をいかに使うかということが、ダウジングが成功するかどうかの決め手となります。

情報をもたらすのは右脳（無意識）で、これを解釈するのが左脳

（意識）です。それらを統合する前頭葉は、直観の場所といえるかもしれません。

「カン」とか「第六感」とかいわれる脳のはたらきについては日常的に経験するものの、たとえば右脳が知っていることでも意識に上らないことも多いようです。ダウジングは、右脳に隠れている有用な情報を引き出す手段の一つで、予測・判断力を磨くトレーニングにもなります。

ダウジングとは、人間（生物）のもつ潜在的知覚能力の活用(ESP=Extended Sensory Perception)であって超能力「Extra Sensory Perception」ではありません。だれもがもっている能力で、鍛えればだれでもダウジングができるのです。では、未知の（顕在化されていない）情報を受容、収集するのは、どのような原理によるのでしょうか。

↓脳は類似の音やパターン、事例に反応（共振、共鳴）しやすい
↓意識にのぼらない（目に見えない）未知のエネルギー放射でも

脳が感知している可能性がある
↓必要とする情報を地球上のさまざまな情報源から右脳が探している

といった仮説がなりたちますが、ダウジングにより、脳や知覚器官が感知したパターン（情報）が同種のパターン（波動）に共振、共鳴、さらに木の枝や振り子などに伝達されて意識に到達するのではないのでしょうか。「形態形成場理論」（ルパート・シエルドレイク）*がこの説を補強するでしょう。

*「システムとシステムの間にあるような空間的・時間的隔たりがあるうとも、そこに起きる形の共鳴の強さは必ずしも減じられない」「過去に存在した同じような形態の存在の影響を受けて、過去と同じような形態を継承する」

探していた情報が、たまたま本棚から落ちてきた本に記載されていたり、思わず口からでた言葉が現実になったりすることがあります。意味のある偶然の一致といわれる「シンクロニシティ」（ユング）ですが、すでに右脳が探知した情報が、偶然を装って私た

ちに伝えられているだけという見方もできるのです。

さて、知覚能力を向上させるには、左右脳の機能を分離的に使うのが有効です。

かんたんなトレーニングとして、利き目や利き手をスイッチしてみましょう。たとえば右目をマスクして仕事をするとか、靴を履くときにはいつもと反対の足からにするなど、無意識に行っている日常生活習慣をかえてみるのです。つまり、固定観念を打破することが、感知能力を高め、情報処理能力を加速するというわけです。そうすることで、未知の資源や存在にアプローチすることが容易になるのです。

☆ ☆

当日の参加者は会員12名、非会員20名、計32名であった。

（関西日本サイ科学会副会長

和田高幸）

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分1,500円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文はメールまたはFAXで、下記のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇〇〇氏講演録音購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp FAX 047-330-4091

2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」

2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」

2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」

2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」

2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」

2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」

2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」

2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」

2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」

2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」

2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」

2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」

2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」

川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」

2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」

2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』

2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」

2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」

2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」

2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の存在と能力」

2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」

2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 二五〇〇円
(送料含む)

※御注文はメールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2010年〇月〇〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psjmail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

以下のビデオ映像から、御注文願います。

- ◎2013年4月本部例会
講師 大野百合子氏
「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」
- ◎2013年5月本部例会
講師 浪平博人氏
「イメージによる瞬間教育」
- ◎2013年6月本部例会
講師 松原秀樹氏
「アレルギーを治す秘訣」
- ◎2013年7月本部例会
講師 酒向猛氏
「千鳥学説を知るために」
- ◎2013年9月本部例会
講師 奥野節子氏
「ブラジルの奇跡のヒーラージョン・オブ・ゴッド」
- ◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと自然治癒力」
- ◎2013年11月本部例会
講師 小久保秀之氏
「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」
- ◎2014年1月本部例会
講師 小川博章氏
「魂の発見」
- ◎2014年4月本部例会
講師 西川真知子氏
「生命の智慧 アーユルヴェーダ―アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ―」
- ◎2014年5月本部例会
講師 岩根和郎氏
「般若心経とサイ科学」
- ◎2014年6月本部例会
講師 秦西平氏
「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- ◎2014年7月本部例会
講師 小林信正氏
「ラップ現象の究明―オーブとの関連性について―」
- ◎2014年9月本部例会
講師 石川允朗氏
「死後の世界と輪廻転生についての一考察」
- ◎2014年10月第24回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと天変地異」
- ◎2014年11月本部例会
講師 坂井洋一氏
「日本人は知らない! 縄文日本の驚くべき真実」
- ◎2015年1月本部例会
講師 英国からの特別ゲスト
THE SOURCE CODES
ソースコードは何ですか?」
- ◎2015年4月本部例会
講師 根本泰行氏
「水からの伝言」と「新しい水の科学」
- ◎2015年5月本部例会
講師 水華氏「君を見放したりはしない―宇宙神技点描画家―水華の世界(ヒカルランド)」
講師 上部一馬氏
「巨大地震を1週間前につかめ」
- ◎2015年6月本部例会
講師 末武信宏氏
「先端アンチエイジング医療&超人を生む自律神経の開発」
- ◎2015年7月本部例会
講師 飛沢誠一氏
「見えない世界の情報を如何に活用するか?」
- ◎2015年9月本部例会
講師 山田欽子氏
「あなたの人生が楽しくなる インド占星術」
- ◎2015年10月第25回全国大会
シンポジウムテーマ
「あの世と多次元世界」
- ◎2015年11月本部例会
講師 坪井香讓氏
「野性と霊性・ヒトの原点
『直立二足歩行』から問う」

よりにマンダラ状模様を持つオーブが3個、右側に白色3重白色発光体を持つオーブ1個が写り、混在している。3重発光球体を拡大してみると、うっすらとマンダラ状模様がみえる。写真2 (No.1093) には、左よりに目 (又は穴) のあるオーブが2個、撮影されている。白色発光体状であるが、極うすく、マンダラ状模様もある。その他の小球もすべてマンダラ状模様を持っている。

写真3、4は福島市の実験室前で測定されている。写真3 (No.1101) の中央上の大球オーブは、白色発光体状であるが、うすいマンダラ状の模様を持っている。特徴として、円内には非対称干渉縞模様と凹凸がある事 (表情がある)、ならびHaloが小さい事であろう。他の中小球オーブには、同様なマンダラ状模様がある。写真4 (No.1103) は実験室前の道路で撮影された。大小様々の多数のオーブが写っており、何れにもマンダラ状模様がある。上述の大気電気学によると、(1) 降り始めの雨 (水蒸気) は、大気陽イオン性である可能性が高い。さらに(2) 水蒸気 (雨粒) に上乗せしてPSI-spin群が存在している、と判断できる。(3) いずれも同一気象条件で撮影されている。小円径オーブをみると、雨としての反射光が加算される為か、全体としては、白色発光体で白色がより強く、明白なオーブが写されている。(4) フラッシュ撮影をしているので、原因として、水滴に対する反射光、屈折光、原子内電子の移動に基づく緩和光。加えてオーブ自身のそれらがあり、結果として写真1~6が得られた、と考えられる。なお詳細は別報に報告する予定であるが、写真1

の3重発光体も、それぞれの円の直径がそれぞれ異なっている。従って、以上の6枚の写真は、全部が真オーブ (たまゆら) である可能性が高い、と判断している。

次に、雨滴が写されており、偽オーブであるらしい一例を示す。写真5 (No.0138) と写真6 (No.0143) をみる。2013年1月13日 (日)、早朝、5:40~5:50、小雨の降り終りころ。

写真5は上述と同一の福島市遠瀬戸の実験室前、ニコンカメラE-2200使用。両写真には、雨滴とオーブが混在している様子であり、沢山の白小球状が写されている。図の右側上部には、やや中球径の尾を引く白球状オーブがあり、左側ならびにほぼ中央に数個の同一形状の小径状オーブが写されている。これらのオーブにはマンダラ状模様は殆ど見あたらず、約25分方向 (時計の針で指示) に尾を引いている。これらは前幕シンクロ・シャッター像が写されたと判断すべきであろう。その他、微小雨滴と思われる白色発光小オーブが写されている。これらは上記の大気電気学が言うように、陰イオン性降雨の為に、偽オーブとして、水滴が写されたのであろう、と判断している。前幕シンクロ・シャッター像と言うのは、シャッター半押しの際の近赤外線照射によって最初にオーブが写り、次の全押し (フラッシュ光照射) によって次のオーブが写る。つまり2重像になり、次にシャッターが降りるので尾を引いた。見掛け上は雨滴が上に降る様に写る事を言う。つまり写真5、6は雨滴の白色発光体の偽オーブであろう、と考えている。

(紙数の関係から、写真は省略させて貰います)

◎2016年1月本部例会

講師 佐々木茂美様

講師 佐藤禎花氏

講師 苗鉄軍氏

「オーブ研究の現状報告」

◎2016年2月本部例会

講師 正木晃氏

「靈魂観の現在」

◎2016年4月本部例会

講師 沖田祐美子氏

「神々の謎」

◎2016年5月本部例会

講師 河野貴美子氏

「意識、無意識、そして潜在能力を脳の観点からどこまで解明できるか？」

◎2016年6月本部例会

講師 エスパール・小林氏

「運」がつく人、「霊」が憑く人」

◎2016年9月本部例会

講師 志賀一雅氏

「7.8 Hzのスローα波の驚異」

◎2016年10月

創立40周年記念大会

シンポジウムテーマ「地球外知

的生命・UFOと宇宙人 (宇宙

人サミット)」

◆ ◆

2. オーブ (Orb) の形成と成長

詳細は前報(サイ科学、2013年、No.135、No.1、pp.2-9)にあるので略述する。

(1) 意識と無意識は脳活動に関係しており、脳は物質である。また物質は素粒子から構成されているので、意識と無意識は素粒子に関係が深い事になる。さらに、

(2) 物と心(精神、意識、無意識)の深いところ(素粒子状)では、物と心とは区別する事ができない。他方、意識のより深いところ(無意識層)からイメージが生まれ、これが、サイ活動の基盤としての「サイ性ASC」になる。

(3) 巴型状に結合された大気陰・陽イオンボール(図1参照)が、相互に押し合う力が平衡して、対峙する時(活性化させる)に零場ができ、これを絞り込むと零点(零場の中の)になる。

(4) 零点(零場)は変換点(巨視現象と微子現象、意識と物質の)であり、不安定な状態でもある。つまり、陰イオン群と陽イオン群が接しながらスピンの(回転)して「巴状の大気イオン・ボールとなり」、これを絞り込むと、陰と陽の和が零になる零点ができ、不安定になり、オーブ(たまゆら)の核が出来易くなる。

(5) オーブ(たまゆら)の核はエネルギー一定条件で生起する。

(6) (オーブ) = (大気陰イオン) + (大気陽イオン) + (エアゾール)

(7) (たまゆら) = (オーブ) + (サイ性ASC)。

(8) (サイ性ASC) = {PSI-spin群(八卦性分岐のカオス)} + ASC。

つまり、(オーブ)に意識面を加算させたものを「たまゆら」という。なお、ASCは変性意識状態を意味する。ここに、八卦性分岐とは、漢方の周易図(太極図、八卦図)において、太極(混沌未分の状態)から2方向に分岐して両儀の状態(1→2に分裂)、次ぎに4つの方向になる{2→4に分裂、4象(八卦)生成}を意味している。この時、分岐の際の方向決定時にSG(偉大な存在)の働きがあると推定(仮定)している。

(9) (PSI-spin群、1) = (電子) + (陽電子)
+ (微細身素粒子)。ならびに、
(PSI-spin群、2) = (陰イオン) + (陽イオン)
+ (微細身素粒子)。

(10) 皮膚(チャクラ、経穴)から微細身素粒子(オーラ、プラナ)が放出される。

(11) 微細身素粒子とはオーラ(バイオ・ホトン、エーテル類似)を意味する。

(12) 陽電子は宇宙線ならびに地表付近の放射線(γ 線)を介して生じる。

(13) 電子は、空気中でも割合に安定に存在している。

(14) オーブの上に核が生成し、これが分岐した後にカオスが形成される。なお、カオス形成のメカニズムは、通常の現象の場合と同一である。また、形成されたカオスはフラクタル構造を持っている。したがって、

(15) 様々なフラクタル構造を有するオーブ(たまゆら)は、細胞分裂の場合と同様に「倍周期分裂の法則(カオス解析)」に従う。これからオーブの形成・成長の過程を推測する事ができる。

3. 実験的な検証の必要性

次の段階として、上述のオーブ(たまゆら)形成機構(仮説)を実証すべきであるが、現状では、実験設備と経費面から無理がある。そこで、仮に、デジ・カメで撮影されたオーブ(たまゆら)像を、上述の仮説・機構で説明する事を試みる。これが、矛盾無く、都合良く説明できれば、実験が不可能の場合でも、安心することができる。

最初に、オーブ(たまゆら)の実験(撮影)結果をのべる。次に本稿の仮説に基づいて説明することを試みる。

4. オーブ(たまゆら)の実験

はじめに、雨の降り始めにデジタル・カメラで撮影されたオーブ像が、水滴であるか、または真オーブであるかの検討をする。写真1~4に一例を示す(紙数の制限から省略)。4例とも、2012年7月6日(金)、夕方の6:30~6:50以内に、福島市の瀧洞神社(写真1、2)と福島市の実験室前(写真3、4)で、同一条件(晴れ、小雨の降り始め前、撮影者、カメラ、場所など)で撮影された。ニコンカメラE-2200、前幕シンクロフラッシュ、オートである。写真1(No.1091、既報告、別報参照)を見る。中央左



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://psi-science.sakura.ne.jp> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

「オーブ」と「イオン・ボール」の形成 (2)

佐々木 茂美

苗 鉄軍

1. 大気イオン・ボールの形成

撮影されたオーブを見ると、(1) 動きが速く、しかも発光性の強いもの。(2) 動きが遅く、発光性の弱いもの。の2種類に大別する事が出来る。本報では、後者の場合 (2) を取り扱う事にする。

1-1) 晴天 (静穏域) の場合

地球表面上の空気には水蒸気 (H₂O) が含まれている。水蒸気が無いと、オーブは極めて出現し難くなる。宇宙線や空間電界の作用によって水蒸気は電離されて大気陰イオン、大気陽イオンと電子になっている。この大気陰・陽イオン (プラズマ) の中に微粒子 (埃、塵) を入れると、帯電して陽イオンになり、その外側に電子が付着して大きな大気陰イオン状ボールが形成される。しかし、電子は動きやすいので、しだいに電子を失って大気陽イオン・ボールになる。微粒子が多い場合には電子、陽に帯電したイオン微粒子ならびに陰に帯電したイオン微粒子ができる。大気中のエアロゾル (微粒子) の大部分は空間電界 (約30万ボルト) の作用によって半分以上は帯電している、という。これらはスピンしているので、周辺のスピン群と相互に作用した結果として {大気陰イオン・ボール (陰) と大気陽イオン・ボール (陽) が結合されて} 図1に示した「ともえ、巴」状になり、大気陰・陽イオン・ボールが形成される、と考えられる。

1-2) 雨天 (雷域) の場合

厚い雷雲「積雷雲」の上側は陽 (+) に帯電し、下側は陰 (-) に帯電しているので、厚い雲の底側の下方にある地表面は次第に陽 (+) に帯電する事になる。また雲が集められて雨滴になるので、雨が降り始めると、空気成分の電離はさらに進む。測定によると、雨の降り始めは陽イオン性の雨、降り止め時の雨は陰イオン性の雨の場合が多いと言う (伊藤朋之)。



雨が降り始めた時の微小水滴の内側は陽イオン H (+、陽) になるので、外側は電子 (-、陰) がとりまいた二重構造になる。雨滴は、空間電界の影響を受けて、陽 (+) に帯電するものと陰 (-) に帯電するものがあるが、平均的には陽 (+) の電荷の場合が多い、という。また霧や弱い雨の場合には、電場の方向は、陰陽の何れの場合もあるが、強さは静穏時の約10倍にも及ぶ場合がある、という {伊藤朋之、in [地球・自然環境の本 (日外アソシエーツ)、紀伊国屋書店]}。雨天の場合も、上記の晴天の場合と同様の理由により、大気陰陽イオン・ボールが形成される。

なお、雨滴と近赤外線の関係を見ると、水の赤外線吸収率は割合に大きい。またオーブは近赤外線領域の波長内で観測されている。従って、オーブ (たまゆら) を形成させる為には、式 (1) の大気陽イオン H (+) の近赤外線領域 (780nm ~ 1.5 μ m) に相当するエネルギー部分をより強調する事が望まれる。